

水産総合研究センター再編整備事業（種苗生産施設）について

1 目的

種苗生産業務の効率化を図るとともに、効果的な栽培漁業を推進するため、「千葉県水産総合研究センター施設の再編整備計画」及び「千葉県県有建物長寿命化計画」に基づき、種苗生産施設の再編整備を実施する。

2 整備の方向性

（1）種苗生産研究所富津生産開発室

新魚種・新技術を導入し、海産魚類の種苗生産の拠点とする。

➡ 魚類飼育棟Ⅲ（新たにトラフグを追加）の新設、緑色LED設備や半閉鎖循環式システムの導入 など

（2）種苗生産研究所勝浦生産開発室

中間育成の拠点とする。

➡ 老朽化した施設（機械棟など）の改修

（3）アワビ・ヒラメ中間育成施設

アワビ種苗生産の拠点とし、県内のアワビ種苗生産を一元化する。

➡ 初期稚貝の飼育を屋内実施（飼育棟の新設）、紫外線殺菌装置の全面導入 など ※検討中

3 事業スケジュール

（1）種苗生産研究所（富津・勝浦）

令和2年度	基礎調査
3～4年度	基本設計
4～5年度	実施設計
6年度～	実施設計・工事

（2）アワビ・ヒラメ中間育成施設

令和2年度	基礎調査
5年度～6年度	基本設計
6年度～7年度	実施設計
8年度～	工事

